

<概要>

- 海運事業者のニーズを踏まえ、錨泊中*のLNG燃料船への燃料補給(バンカリング)を可能とすべく、「LNG燃料の夜間・錨泊中のバンカリング実施に向けた検討委員会」において、ガイドラインの見直しを検討 (※錨を使用して船舶を停泊させている状態)
- LNG燃料船とバンカー船の動揺シミュレーションにより、安全にバンカリングができる風速・波高等を検討し、ガイドラインに、錨泊中にバンカリングを行う場合の条件を新たに追加



検討方法

- 風速、波高の条件を変えて、錨泊中のLNG燃料船とバンカー船の動揺シミュレーションを実施



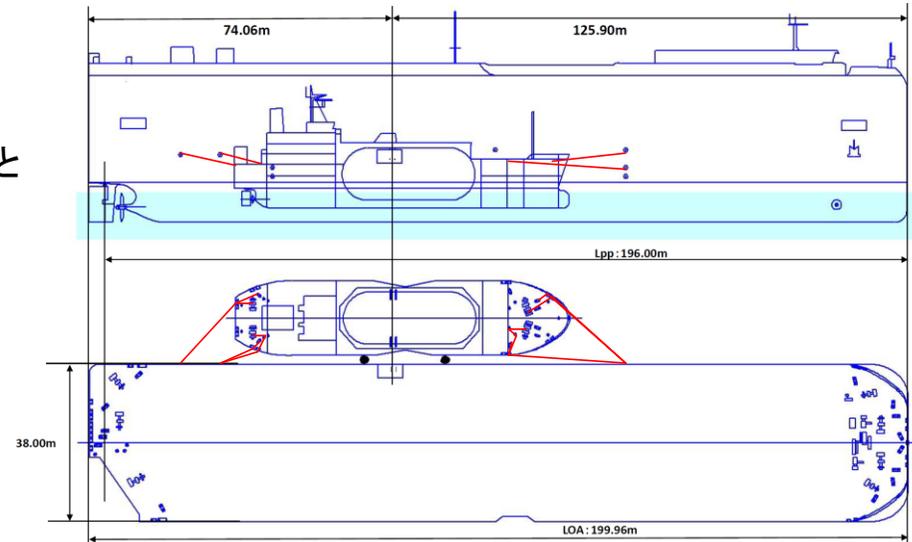
動揺シミュレーション

錨泊中にバンカリングを行う場合の主な条件

- 気象海象条件
 - ① 風速5m/sec以下
 - ② 波高1m以下
 - ③ 視程500m以上
 を満足すること

- その他の注意事項
 - 係留索の長さや張力をできる限り均等にしてバランスを取ること
 - 周囲の船への注意喚起
 - 係留索の監視

等



係留索の取り方の例

LNG燃料の夜間・錨泊中のバンカリング実施に向けた検討委員会

<委員長>
高崎 講二 九州大学名誉教授

- <委員>
- 海上保安大学校
 - 日本海事協会
 - 海上技術安全研究所
 - 日本船主協会
 - 日本内航海運組合総連合会
 - 日本水先人会連合会
 - 日本造船工業会
 - 日本中小型造船工業会
 - 日本海難防止協会

- <関係省庁>
- 国土交通省海事局
 - 国土交通省港湾局
 - 海上保安庁警備救難部
 - 海上保安庁交通部